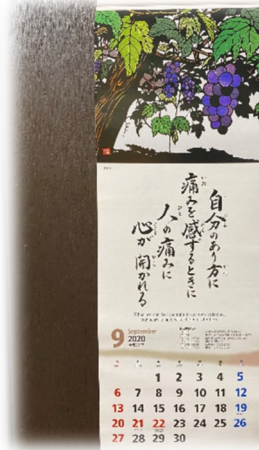


浄泉寺報

第22号
2020年
秋彼岸



2020年9月の法語カレンダー

自分のあり方に
痛みを感じるときに、
人の痛みは心が開かれる。

浄泉寺住職 望月廣三

この教えからまず考えたいのは、「自分のあり方に」痛みを覚えるときにはとても他人の痛みなどに心が開かれたい、ということ。自分のことに精一杯で、人のことなどに気がまわらない、それが人間の常でしょう。にもかかわらず、「人の痛み」に心が開かれる、と言われる。どう

してなのか？こんなことがあり得るのだろうか…。

ここには通常のあり方をしていられる人には気づかない、じつに深い問題が秘められているのです。それは自身の「あり方」に痛烈な懺悔（仏教読みはサングエです）がなければならぬ、ということ。単なる「痛み」ではありませ

ん。人は誰も罪を犯そうと思わなくても、罪を犯す縁（条件）が揃えば犯してしまいます。これが人間です。そして、そのことにより、その罪の深さにおののき懺悔せざるを得なくなる…。深い罪業の身であると気づかされることで、愚かな人間だと思ひ知るのです。そして、そのことごとく、他人の「痛み」に心が開かれるのではないのでしょうか。



浄泉寺からのお知らせ

● 彼岸会 ●

本堂でのお彼岸のお勤めです。マスク着用でお参りください。

九月二十二日（火・祝）午後二時～

お勤め・住職法話

● 報恩講 ●

※真宗門徒にとつて、最も大切な法要です。新型コロナウイルス感染症対策を講じてお勤めします。お誘い合わせお参りください。

十二月十二日（土）午後三時～

速夜法要・御伝鈔拝読

十二月十三日（日）午前十一時半～

結願晨朝・お齋・満日中法要

〔法話〕 住職

● 同朋会 ●

浄泉寺では、毎月住職の法話の後、お茶を飲みながら語り合う同朋会を開催しています。どなたでもお気軽にご参加いただけます。

報恩講の前には、本堂の仏具の「おみがき」も行います。

日程等の問合せは浄泉寺まで。

若坊守のひとりごと

メールやSNSが身近になってから、私達は「沈黙する」時間を削がれているそうです。何か心に浮かんだ他愛のないことを、SNSに直感的に投稿したり、メールで手軽に伝えることができるようになって分、自分の思考をじっくり内に止める、つまり沈黙する機会が減っているというのです。

自分が発したメールや呟きに誰かが反応し、常に誰かと繋がりが続けていられることに安堵し、より一層孤独を恐れ、孤独から脱却するためにさらに何かを発し続けているのでしよう。

自分を受け止めてほしい、理解してほしい、その渴望は誰にでもあります。しかし自分の中にある孤独感を今この時代だからこそ、大切にすべきではないかと思うのです。悲観でも諦めでもなく事実として、自分以外の誰とも共有することができない絶対的な孤独があるという哀しみでもあります。しかし孤独は悪でなく、私一人がここにいるという確かめでもあると思うのです。

（浄泉寺若坊守・釋尼彌名）

お内仏(仏壇)に座る ⑳ ～ 『教行信証』 ～

浄土真宗を顕かにされた親鸞聖人の主著はというと、『教行信証』(正式には『顕浄土真実教行証文類』)です。インド・中国・日本と国を越え、時代を超えて伝わってきた人間解放の教え(南無阿弥陀仏の仏教)を後の世に何としても遺さなければならないという強い使命感から書かれた書物です。そこには、親鸞聖人自身がその教えに出遇った深い感動と、その教えによって我が身の愚かさを照らし出された懺悔が告白(告白)されています。



国宝『教行信証』(坂東本)「正信偈」の部分

なお、私たちがお勤めをする「正信偈」は『教行信証』の中にあり、教えに出遇い得た感動の絶頂の偈です。(浄泉寺若院・釋亜世)

～ 浄泉寺からご門徒の皆さんへのお願い ～

宗祖親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃事業へのご懇志をお願いいたします。

来たる2023年、宗祖親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要が本山・東本願寺で勤まります。この法要は、かけがえのない仏教の教え(念仏)を私たちに伝えてくださった親鸞聖人の御誕生と、親鸞聖人が『教行信証』を著して本願念仏の教えを顕かにされたことを慶び、私自身が「人と生まれたことの意味」をたずねる大切な機縁としてお勤めします。

そして、法要を機縁として、教えを次世代に伝えるための様々な取り組みのため、本山から懇志の依頼がきています。すでに納入くださった方も多数おられますが、全てのご門徒の皆様からのご懇志(1口1万円)の協力をお願いいたします。 [2022年末迄にお納めください。]



令和2年(2020年)年忌表

ご法事(年忌法要)は、亡き人をご縁に、仏さまの教えを、今生きる私たちが聞かせていただく大切な機会です。浄泉寺本堂でご法事を勤めることもできます。

一周忌	平成31 令和元年(2019年) 亡
三回忌	平成30年(2018年) 亡
七回忌	平成26年(2014年) 亡
十三回忌	平成20年(2008年) 亡
十七回忌	平成16年(2004年) 亡
二十五回忌	平成8年(1996年) 亡
三十三回忌	昭和63年(1988年) 亡
五十回忌	昭和46年(1971年) 亡

浄泉寺からのお勧め!

「正信偈」を書写してオリジナルのお勤めの本を作りませんか? お求めは、浄泉寺まで。(¥2,000-)

<発行元・問い合わせ>



真宗大谷派 楠林山 浄泉寺 電話 0799-22-4798
〒656-0026 洲本市栄町4-3-43
ホームページ <http://jyosenji.asei.info>